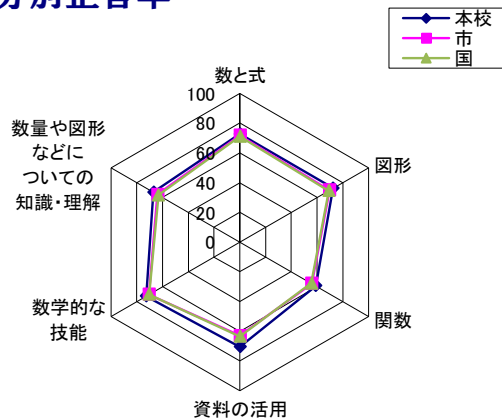


宇都宮市立豊郷中学校第3学年【数学】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

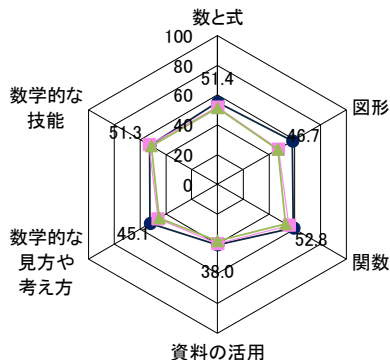
【数学A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	72.8	71.7	71.1
	図形	72.4	69.7	69.1
	関数	58.9	55.8	55.5
	資料の活用	70.5	62.9	63.5
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方			
	数学的な技能	72.7	70.6	70.4
	数量や図形などについての知識・理解	67.1	64.0	63.3



【数学B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	55.2	52.0	51.4
	図形	58.2	47.3	46.7
	関数	58.8	55.4	52.8
	資料の活用	40.6	39.8	38.0
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	52.4	46.3	45.1
	数学的な技能	52.6	53.1	51.3
	数量や図形などについての知識・理解			



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	<p>○数学A、Bともに平均正答率は全国平均を上回っている。特に、数学Bでは全国平均を3.8ポイント上回っている。</p> <p>○数学Aでは、方程式に関する問題で、全国平均と比べて10ポイント以上正答率が上回っている問題が何問もある。</p> <p>●数学Aの「絶対値の意味を理解している」「指数を含む正の数負の数の計算」問題では、正答率が、全国平均を5ポイント以上下回っている。</p>	<p>・基本的な計算の技能は身に付いているが、より速く正確に計算できるように、反復練習の機会を設ける。</p> <p>・言葉の意味などの知識が不十分なため、間違えてしまうことがあるので、小テストなどを利用して数学に関する知識の定着を図っていく。</p>
図形	<p>○数学A、Bともに平均正答率は全国平均を上回っている。特に、数学Bでは全国平均を11.5ポイント上回っている。</p> <p>○ほとんどの問題で、正答率が全国平均を上回っている。特に、数学Bのすべての設問で、全国と比べ正答率が10ポイント以上高い。</p> <p>●数学Aの「ひし形が線対称な図形か点対称な図形か選ぶ」問題では、全国平均をわずかながら下回っている。</p>	<p>・点対称、線対称な図形、合同や相似な図形など2つの図形の関係に関する特徴について、理解が高まるよう指導の工夫をする。</p> <p>・図形に関する知識・理解については、しっかり身に付けている生徒が多い。今後はさらに筋道を立てて説明する力を高めるため、言語活動をより多く取り入れていく。</p>
関数	<p>○数学A、Bともに平均正答率は全国平均を上回っている。特に、数学Bでは全国平均を5.0ポイント上回っている。</p> <p>○ほとんどの問題で、正答率が全国平均を上回っている。特に、数学Bのすべての設問で、全国と比べ正答率が10ポイント以上高い。</p> <p>●数学Aの「反比例のグラフから表を選ぶ」問題のみ、正答率が全国平均を3ポイント下回っている。</p>	<p>・表・グラフ・式との関連性を意識した授業を取り入れ、それぞれの表し方のよさを感じられるようにするとともに、問題にあった表し方を活用できる力を身に付けられるようにする。</p> <p>・各学年の関数領域の導入の時間には、2つの数量の関係が関数である場合とそうでない場合を明示し、関数の意味について確認できる時間を設ける。</p> <p>・日常生活に密着した問題を解く機会を多く設け、関数的な思考力を育てる。</p>
資料の活用	<p>○数学A、Bともに平均正答率は全国平均を上回っている。特に、数学Aでは全国平均を7.0ポイント上回っている。</p> <p>○特に、数学Aの相対度数の変化を読み取る問題では、正答率が、全国平均より21.2ポイント高くなっている。</p> <p>●他の内容に比べ、「与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理する」力が弱い。</p>	<p>・1つの資料を表や棒グラフ、円グラフなどのさまざまなグラフに表すことや、それらのグラフから傾向を読み取ること、また、反比例や1次関数の形に表す力を身に付けさせる。</p> <p>・関数と方程式などの複合的な問題にも積極的に取り組ませる。</p> <p>・資料の読み取りや活用は、他教科との関連性も高いので連携を図って取り組んでいく。</p>